

「傾聴ボランティアのつどい」開催報告

『バリデーション』～心通わせて コミュニケーションで大切なこと～

公認日本バリデーション協会 岩村 和子 氏

高松会場 平成31年2月13日(水) 13:30~15:30 香川県社会福祉総合センター7階第2中会議室
多度津会場 平成31年2月14日(木) 13:30~15:30 多度津町民健康センター2階多目的ホール



笠岡市からお越しの講師 岩村 和子氏



寄りそった声かけの有無による違いを歩行体験



高松会場 20名(男性4名 女性16名)、多度津会場 14名(男性3名 女性11名)にご参加いただき、バリデーションというコミュニケーションについて学びました。参加の中には、バリデーションをご存じの方もいましたが、ほとんどの方が初めて耳にするコミュニケーション方法でした。バリデーションの英訳は、検証、認可、確認となり、認知症高齢者とのコミュニケーション方法のバリデーションの原意は、認知症のある方を変えることを目的とせず、今まで生きてきた意味、価値を確認し、価値等を認め、力づけることとなります。認知症高齢者の方の行動には必ず意味や目的があり、伝えようとしていることを介護者等が受け止めるスキルを身につける必要性を説かれました。いずれ訪れる死を前に、やり残した仕事(伝えたいこと)を片づけようと懸命に奮闘している認知症高齢者に対し、尊厳と共感を持って関わるのが主軸です。

今回の講義では、バリデーションの3つの要素、理論・テクニック・基本的態度について、主にご講義いただきました。その場しのぎの安心感を与えるのではなく、誠実に、敬意を持って接することや、行動が必ずしも理解できなくても、一方的に判断(評価)、否定をしないことなどは、傾聴活動にとっても重要で、相手を深く理解することは、活動の意義や喜びを倍増させることに結びつくように感じました。2人1組の演習では、介護者に勝手に連れて行かれる歩行と、声かけを行う歩行の違いで、互いに寄り添い合う気持ちが生まれ、2人の関係に変化が現れることを実感できました。

高松会場では、香川県県政テレビ「サン讀かがわ+ (プラス)」の取材があり、講師及び参加者の皆様にご協力をいただき、大変感謝申し上げます。



放映日時等のお知らせ

香川県県政テレビ「サン讀かがわ+ (プラス)」
3月14日(木) 午後9時54分~10時
OHK 岡山放送
※ケーブルテレビの放送日時は各局の番組表をご覧ください。

傾聴ボランティア養成講座修了者の活躍の場 傾聴活動の場をお探しの方は事務局まで ☎087-861-0546

(香川県社会福祉協議会 高齢者いきいき案内所)

傾聴ボランティアグループふんわり in 仙遊荘

食堂でおくつろぎの入所者様に男性1名女性3名が、マンツーマンやグループ傾聴を行っています。グループのメンバーの予定を調整し、月1回開催中。



傾聴ボランティアグループ in サービス付き高齢者向け住宅アゼリア今津

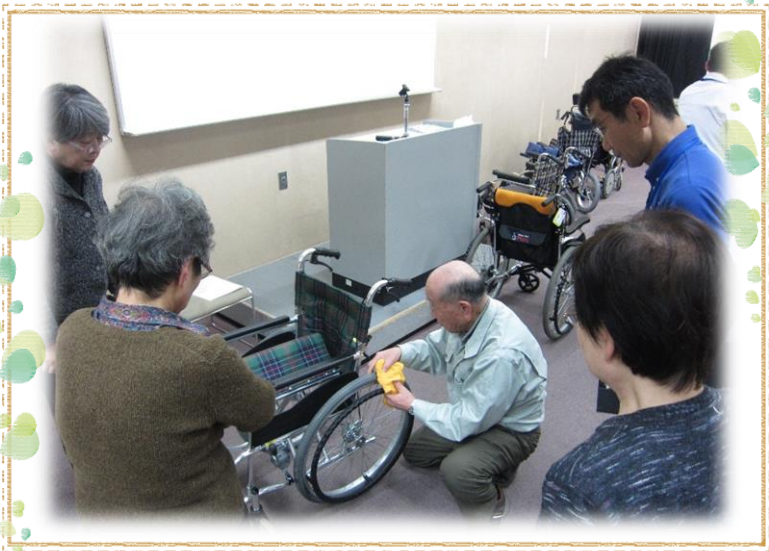
女性4名が、入居者様の居室で、固定した方にマンツーマンで対応しています。第3火曜日 13:00~14:00開催中。



車いすピカピカボランティア養成講座のご報告

日時：平成31年1月23日（水）13:30～15:30 会場：香川県社会福祉総合センター7階第1中会議室
 講師：株式会社トーカイ シルバー事業本部 四国第一営業部 小松 公裕 氏、森 大輔 氏、山本 圭一 氏
 香川県社会福祉協議会 地域福祉課 石田 盟人 主事
 参加者：男性5名 女性9名 計14名

様々な種類のカラフルな車いす7台を前に、介護の度合いや用途に応じた機能を持つ車いす選びの大切さを知りました。標準車いす（自走式、介助式）の各部名称と役割を学び、役割を知ること、きちんとした手入れがされていないと、場合によって、怪我などにつながるの、日々の手入れの大切さを感じました。また、車いすの拡げ方や折りたたみ方を知らない方もいて、安全な拡げ方とたたみ方を何度か練習いただきました。その後、車いすの試乗体験で、一人ずつ、車いすに乗り、三角コーンをよけながら、車いす走行を体験したり、ペアになり、会場内に設置された段差や坂を介助する体験を行いました。受講者から、「自身の車いす走行では、なかなか思うようにカーブを曲がれず、大回りになってしまい、一人で移動するにはかなり力や体力が必要で、車いす利用者の方の気持ちを理解できました」、「少しの段差でも、乗っている人には急な傾斜と感じてしまうことや、坂から下る時、後ろ向きで下りの方が安心感を持って、体験したからこそ、理解でき、良い勉強になりました」と感想をいただきました。最後に、車いすのお手入れ方法をしっかり学び、お手入れ時の気づきを車いすを所有している施設に伝えることが、ボランティアの役目の一つと教わりました。



今年度初めての養成講座でしたが、次年度は、講義後即実践として、施設内の車いす清掃も体験いただきたいと思います。

高齢者いきいき案内所 人材バンク登録者交流会『きらりんぐ』開催報告

平成31年2月15日（金）10:30～11:30
 サービス付き高齢者向け住宅 瀬戸雅（高松市上林町495）
 参加者：女性9名

旅館のような佇まいのサービス付き高齢者向け住宅「瀬戸雅」と併設のデイサービス「瀬戸日和」を、丁寧な説明と共に1時間ゆっくり見学させていただきました。各居室にキッチン、浴室、トイレが完備され、お一人お一人の生活を大切に、また、地域の方と入居者様をつなぐ1つとして、施設スペースの貸し出しにも取り組まれています。高齢者を取り巻く施設の変化を見せていただき、参加者の方も新しい情報を得ることができました。



支配人
清水 準子 氏から
魅力溢れる瀬戸雅に
ついて、じっくり
説明を受けます。

様々なタイプの居室
や、併設のデイサー
ビス、遊戯室など
じっくり見せていた
だきました。



平成31年度ボランティア活動保険 説明会

日時 平成31年3月15日（金）10:00～11:30
 場所 香川県社会福祉総合センター3階ボランティア交流室
 （高松市番町1丁目10-35）
 内容 10:00～ 平成30年度ボランティア活動保険報告
 10:30～ 平成31年度ボランティア活動保険加入手続き
 ※当日に限り、現金受付をいたします。
 11:30 終了
 対象者 高齢者いきいき案内所 人材バンク登録者及び団体
 参加申込 特に必要ありません。
 参加費 無料
 お問い合わせ 香川県社会福祉協議会 地域福祉課 平池・石田
 ☎ 087(861)0546/FAX087(861)2664

高齢者いきいき案内所 人材バンク登録者交流会『きらりんぐ』



日時 平成31年3月30日（土）
 10:00～12:00
 場所 高原水車
 高松市六条町672
 内容 昨年3月、四国唯一の現存する製粉精米水車場で、約300年の歴史を持ち、復元された日本最古の「^{たかはら}高原水車」の見学
 対象者 高齢者いきいき案内所人材バンク登録者及団体
 電話及びFAXでお申し込みをお願いいたします。
 定員 10名
 参加費 無料
 持参物 水分補給用のお茶等
 お問い合わせ 香川県社会福祉協議会
 地域福祉課 平池・石田
 ☎ 087(861)0546
 FAX087(861)2664
 ～イメージ～



編集後記

冬の寒さを感じないまま、春を迎えると思っておりましたが、寒波に見舞われ、わずかな時間、雪を楽しみました。厳しい寒さの後の暖かさや、夜明けの早さ、日没の長さから春の近づきを日々感じる今日この頃です。そして、今年度も多くの方々に、いきいき案内所の依頼から、様々な場にご協力いただき、大変感謝申し上げます。これからも、お一人お一人に大切な出会いをお届けする気持ちで活動先をつないでいきたいと思ひます。 平池